

アレルギー治療と 学業・仕事の両立を支援

藤田医科大学総合アレルギーセンター(ばんだね病院内)では、アレルギーの症状や治療が原因で学業や仕事に支障がでている——そんな方をサポートする“アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立支援”に取り組んでいます。患者さん一人ひとりの症状や状況に合わせて、専門医と支援チームが学校・職場と連携し、無理なく就学・就労を続けられる環境づくりをお手伝いします。

両立支援の実績(抜粋)

Case1

疲れが溜まると
アレルギー症状が出てしまい、
仕事を休みがちに...



検査で症状の要因を検討し、対処法を助言。
職場にも相談し環境を整えたことで、症状をコントロールしながら就労を継続できた。



食物アレルギーで通院中。
職場の異動で通勤距離が長くなったことで、
じんましんが頻繁に出るようになり困っている。

疲労やストレスがきっかけとなり、アレルギー症状が増悪した可能性を職場に共有。就労先の配慮により、症状は落ち着いた。

Case2

Case3

アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎の
症状がひどくて夜眠れない。
その結果、朝起きられず、
学校は欠席や早退が多くなっている。



学校側と担当医師で面談を実施。アレルギー疾患に加え、
起立性調節障害が体調不良の原因であることを共有。
保健室登校が許可され、早退・欠席の減少など通学状況が改善した。



Case4

免疫性疾患のため、
入院加療が必要に。
家族は仕事が休めず、
自分しか子どもの面倒を見る
ことができないので、治療に専念できない。

治療に専念できるよう子育て支援先を紹介。
入院中は子どもを預けられ、治療に専念することができた。

病院と学校・職場をつなぐサポートネットワーク



主治医

病状・治療計画
の共有



藤田医科大学ばんだね病院
治療と就学・就労の両立支援チーム

患者さんのご要望に応じて
指導内容の共有



学校の保健管理担当
企業の人事労務担当

学校・企業

対象となる
患者さん・ご家族 例えば、職業性かぶれ(手湿疹)・鼻炎・喘息・食物アレルギー等の患者本人および、
頻回な通院が必要な難治性アレルギー疾患の小児の保護者

治療と就学・就労の両立にお悩みの方は、
ばんだね病院の各診療科を受診した際にご相談ください

受診方法は総合アレルギーセンター ホームページ(受診方法>初診の患者さん)
からもご確認いただけます



総合アレルギーセンター
ホームページ



ばんだね病院
外来医師担当表



藤田医科大学 総合アレルギーセンター
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GENERAL ALLERGY CENTER